

# 『高齢者・障害者の自動車運転支援の取り組み』

令和3年3月7日（日）に高齢者・障害者の自動車運転支援委員会による ZOOM 研修会が開催されました。この研修会では高齢者・障害者の自動車運転支援に関する知識や支援内容を学び、この分野における知識や技術の向上を目的に開催されました。今回、研修会に参加された方の中で、自動車運転支援に関わった経験のない田上氏大祐氏と関わった経験のある住友宗孝氏の2名の方に研修会で学んだことや感想などをお聞きました。

## 田上 大祐氏



- ・ 自動車運転支援の経験なし
- ・ 介護老人保健施設勤務
- ・ 介護保険領域の方が対象

### \* 研修会に参加して学んだこと、今後の臨床で活かしていけること

法制度の説明からしていただき、超高齢化の課題とされている自動車運転継続の流れや、脳卒中後の運転再開の流れを知ることができました。主治医と協働し、様々な評価の組み合わせやドライブシミュレーターを用いて、対象者の課題点を明確化し、リハビリテーションに取り組むことで、自動車運転の継続支援を行っている場合と、免許返納が必要な判断をする場合があることを知りました。適切な評価を行い、自己理解していただくことで事故の加害者になることを防ぐことも重要な役割であると感じました。

### \* 自動車運転支援に対して悩んでいる方、今後取り組みを行おうとしている会員へ一言

介護老人保健施設に勤務しており、自動車運転支援が必要な利用者様は少ないですが、勤務している場所は山間地域でもあり自動車運転は生活に必要な一部であります。また、併設の病院でも軽度認知症者の方やそのご家族など支援が必要な方は少なからずおられると思います。当施設のようにドライブシミュレーターがなくても様々な評価を行うことで課題などを見つけることができ、利用者様や家族様に気をつけていただくことなどを助言できるのではないかと感じました。

高齢者・障害者の自動車運転支援委員会では自動車運転支援に関するパンフレットの作成を予定されているそうです。委員会の研修会や報告などを（一社）高知県作業療法士会のホームページなどで確認し、われわれ会員の一人一人が所属施設などで取り組んでいければと思います。

## 住友 宗孝氏



- ▶ 自動車運転支援の経験あり
- ▶ 回復期病棟勤務
- ▶ 脳血管疾患、整形疾患の方などが対象

### \* 自動車運転支援に関わっていること

自動車運転再開に必要な神経心理学的検査と、運転に必要な作業工程を模擬的な動作で評価し訓練を実施しています。

また、道路交通法と保険に関する内容や、運転免許センターで適性検査を受ける手順や内容の説明を行っています。運転

再開が困難な対象者には免許返納後に利用できるサービスについて情報提供も行っています。

### \* 研修会に参加して学んだこと、今後の自動車運転支援に活かしていけること

高知県内で率先的に取り組まれている施設の評価・訓練内容・支援の流れ、法整備・運転教習所・運転免許センター連携・

自動車改造等について学ぶことができました。今後支援に悩んだ時に、他施設の作業療法士に相談できる関係性作りができ

たことで実りのある研修会となりました。

### \* 自動車運転支援に対して悩んでいる方、今後取り組みを行おうとしている会員へ一言

高知県で生活する中で、自動車運転ができる・できないでは生活の質に大きく影響を及ぼします。自動車運転支援が必要な

対象者を前にした時に、統一した判断基準がないことや、運転免許センターや運転教習所と連携の取り方がわからないなど、

様々な問題がでてくると思います。そのような問題を解決するために、高齢者・障害者の自動車運転支援委員会が開催する

研修会に会員の皆様も一度参加してみたいはいかがでしょうか。